

## ‘ふるさと発見’ スポット紹介



### ☆南湖院（南湖院記念 太陽の郷庭園）

明治 32（1899）年医師の高田畊安により結核療養所として開設、キリスト教精神に基づき運営されました。

昭和 11 年、敷地 5 万坪、建物約 4,500 坪。（1945 年閉院）



跡地（左遠くに富士山）

### ☆八大龍王神



住吉神社の鳥居脇

昔、姥島に祀られていたが厳しい波風を避けてここに移されたと伝えられています。

柳島の八大竜王と形が似ています。国道 134 号より海岸側の数か所で八大竜王が祀られています。

### ☆住吉神社

明治初年、大阪市住吉の官幣大社、住吉大社から分霊を戴き祭祀しています。漁業集落の旧茅ヶ崎村西南湖下の鎮守さまです。



鳥居から社殿までが遠い

### ☆八雲神社と萬鉄五郎



坂の上にある神社



鳥居脇に案内板

明治初期の神仏分離以前は牛頭天王を祀る天王社でした。

萬鉄五郎は岩手県和賀郡に生まれ、大正 8(1919)年に移り住み、浜辺や村の様子を描いています。

### ☆山田耕筈

東京本郷生まれ、昭和元(1926)年に移り住み、茅ヶ崎・東京間の電車の中で作曲した三木露風の詩「赤とんぼ」を始め、数多くの童謡を作曲しました。借家跡地に案内看板があります。



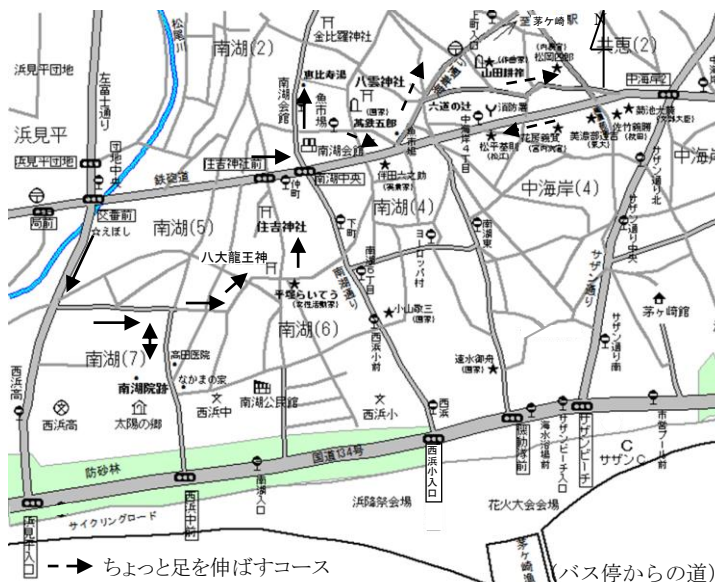
跡地に建つ案内板

## ぶらり散歩

西浜高校の辺りから東側一帯の広大な土地に南湖院が建てられ、療養する人や関係者も周辺に住み、駅からの道＝海岸通り、魚市場跡や六道の辻があります。

南湖通りには、かつて、高い煙突が目印の銭湯がありました。路地奥に進むと八雲神社があります。

画家のアトリエの跡や別荘の雰囲気はまだ僅かに残っている所もあります。（美濃部坂の南北などの屋敷林）また魚介類豊富な網元料理の店もあります。



→ ちょっと足を伸ばすコース  
魚市場跡、六道の辻、山田耕筈、別荘跡地  
バス停：中海岸 4 丁目（歩程：約 3km、約 1 時間）

徒歩：団地中央（バス停）→南湖院、八大龍王神、住吉神社、八雲神社、南湖会館（バス停）  
歩程：約 2km、約 40 分

バス停：茅ヶ崎駅北口から団地中央（浜見平行）  
南湖会館（コバス、茅ヶ崎駅南口行）

### “ちがさき丸ごとふるさと発見博物館”

茅ヶ崎全域を博物館と見立てて、地域の宝を活用して

- ①生涯を通じて学習したことを地域に活かせる
- ②文化が身近に感じられる
- ③ふるさとを愛する気持ちを持つ仲間が増やせる

“地域（＝まち）づくり！”を目指しています。

（No.7 作成：2013. 5. 14、改訂：2025. 8. 1）

ちがさき

# 丸ごとふるさと発見博物館

南湖院から八雲神社へ

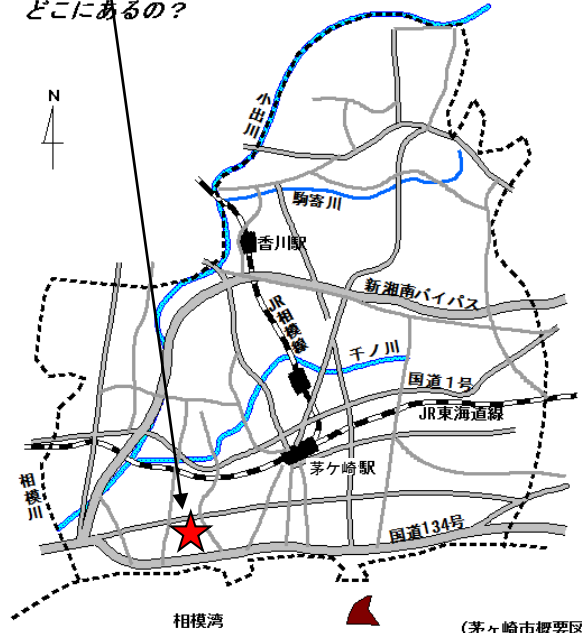
空気の澄んだ湘南海岸

療養するのに適した土地

別荘も建ち、文人も活躍した

昔、漁師たちが海へ通った道、南湖通りには神社仏閣が多い

どこにあるの？



茅ヶ崎市教育委員会社会教育課

# “南湖院から八雲神社”を調べる

--> はちよっと足を伸ばすコース

自分で探したものを絵や写真で追加しましょう！

“ふるさと発見”



昔懐かしい銭湯  
(今はありません)



網元料理を満喫



住吉神社  
(住吉大社の末社)



八大龍王神  
(姥島から移設された)



旧南湖院第一病舎(国登録文化財)  
(高田畠安が結核撲滅のため明治32年開設。昭和11年に5万坪まで広がる)



八雲神社



よるず  
萬鉄五郎の案内板  
(神社南側に住んでいた)



こうさく  
山田耕筈の歌碑板  
(奥の建屋に住んでいた)



美濃部坂  
(坂の両側は別荘地跡)



六道の辻  
(六本の道が交差する)



魚市場  
(今はありませんが、跡地を示す案内板があります)  
注) (★は「茅ヶ崎の別荘見て歩きます」を参考に大体の位置を示す)



小山敬三が住んでいた付近  
“ちがさき丸ごとふるさと発見博物館”

No.7作成:2013.5.14 改訂:2025.8.1)